

たつ こ た ろ う
龍の子太郎



まつたに こ さく たしろさんぜん え
松谷みよ子／作 田代三善／絵
こうだんしゃ
講談社 210p ISBN : 978-4-06-213534-4

太郎はどうぶつたちや、ふえの上手な女の子あやとあそんでいました。ところが、あやが鬼にさらわれ、さらにお母さんが龍のすがたで生きていると知らされた太郎は、てんぐの力をかりて二人をたすける旅に出ます。

ちい ま じょ
小さい魔女



おとふりーと＝ぷろいすらー／作 大塚勇三／訳
がっけん
学研 190p ISBN : 978-4-05-104647-7

まだたったの127歳の小さい魔女は、おどりのなまにに入りたくて、いい魔女になるやくそくをしました。そこで、カラスのアブラクサスとともに、こまっている人たちを、まほうでたすけることにしました。

ちい
小さなスプーンおばさん

シリーズ
3 さつ



アルフ＝プリヨイセン／作 大塚勇三／訳
がっけん
学研 166p ISBN : 978-4-05-104650-7

スプーンおばさんは、とつぜん体が小さくなったり、元にもどったりします。小さな体でどうぶつたちと楽しくおしゃべりするお話には、『スプーンおばさんのぼうけん』、『スプーンおばさんのゆかいな旅』もあります。